

石山・芸術の森地域 石山部会 ニュース

石山・芸術の森地域では、平成 26 年度に「石山・芸術の森地域学校規模適正化検討委員会」を設置し、地域の 4 小学校を対象に学校規模適正化についての検討を進めてきました。平成 27 年度からは「石山部会（石山小学校・石山南小学校）」と「芸術の森部会（常盤小学校・石山東小学校）」に分かれて、より具体的な検討を進めています。

～このニュースはまちづくりセンターや児童会館、学校でも配布しています～

第 12 回石山部会について

平成 29 年 8 月 21 日（月曜日）午後 1 時 30 分から、石山南小学校で第 12 回石山部会を開催し、新設校の校名を決定しました。また、石山南小学校の跡活用について検討を行いました。

地域の皆さまから寄せられた意見(報告)

6 月に開催した第 11 回部会以降、地域の皆さまから寄せられたご意見はありませんでした。

石山小と石山南小の両小同窓会から(報告)

石山小学校同窓会と石山南小学校同窓会から、校歌の制作について報告がありました。

<前回（第 11 回）部会での提案>

- 新設校の校歌について、石山地区出身で歌手の「大黒摩季さん」に制作をお願いしたいと考えている。
- 以前から地域で要望や意見が出ていたため、両小同窓会から校歌制作を依頼し、新設校に贈りたいと思う。

その後、大黒摩季さんと、その所属事務所へ制作を依頼したところ、本人・事務所からご快諾をいただきました。



新設小学校の校歌は、石山地区出身で歌手の
おおぐろ ま き
「大黒摩季さん」が制作してくださることとなりました。

※ 続報があり次第、随時ご報告します。

検討事項

事務局から、以下の説明がありました。

◆新設校の校名案に関する意見書の提出について

- 今回の部会で校名案を最終決定し、その結果を意見書にまとめ、教育委員会の教育長へ提出していただく。
- その後、校名案について、9 月 20 日から始まる札幌市議会に議案を提出し、承認を受けた後、正式決定となる見込み。

◆石山南小学校の跡活用について

まちづくり政策局都市計画部から、以下の説明がありました。

- 石山南小跡施設の活用について、平成 28 年 5 月に市役所全体へ活用について確認をしたが、希望部局はなかった。
- その後、10 月から約半年間、石山南小周辺の人口推移や、施設の立地状況、地域ニーズ等の調査を実施。その結果も踏まえ、改めて市の関係部局で協議を行ったが、活用希望部局は現れなかった。
- 学校施設を学校以外の用途で使用する場合、法令上、消火・排煙設備等のさまざまな改修が必要となり、多額の費用がかかる。
- 厚別区もみじ台地域の小学校跡施設のように、地域の要望を契約条件に加えて民間事業者へ売却を行うことで、従来どおりに体育館等を使用できる可能性がある。



<札幌市としての跡活用の基本的な考え方>

地域要望（体育館の開放等）を契約条件に加えた上で、
民間事業者へ売却を行う。民間事業者は公募により決定する。

- 今後、地域の要望をまとめ、売却条件について検討。平成 30 年 3 月頃までに部会で「跡活用案」を決定する。
 - いただいた「跡活用案」をもとに市内部で検討を行い、市の方針を改めて決定。平成 30 年度中に公募等の手続を進める。
- ※ これらは、最短でのスケジュールです。

委員意見など

◆新設校の校名について

委員から以下のご質問、ご意見がありました。

- 改めて小学校の子どもたちに聞くと「石山緑小」との意見が多かった。公募した際も、児童からの応募数は石山緑小が一番多い。
- どの案にも意味があり、非常に悩む。地域の中心になることを願う「石山中央小」、石山らしさのある「石山軟石小」、分かりやすくなじみやすい「石山緑小」、今までの歴史も踏まえてここからスタートするという「石山未来小」。どれも想いや願いが込められている。
- 緑や若葉には、「芽吹く」「巣立つ」というイメージもあると思う。子どもたちの未来を考えると、「石山緑小」がふさわしいのではないか。
- 「緑」からは石山緑地も連想することができる。石山緑地は石山のシンボルであり、軟石を切り出してきた地域の歴史を表す場所だと思う。先ほど出た「巣立ち」の意味も含めると、「緑」には過去・現在・未来の全ての想い・願いを込めることができるのではないか。
- 石山といえば軟石であり、校名としてインパクトもあることから、「石山軟石小」がいいと思う。
- 「石山軟石小」への想いもよく分かる。しかし、「緑」には石山緑地が含まれ、その緑地には「軟石」とその「歴史」も含まれると思う。

- 市内に「緑」のつく小学校はたくさんあるが、われわれの「緑」には地域全体の願いが込められており、意味合いも重みも全く違う。
- 同じ色の葉はなく、1枚1枚違う緑色である。それは、子どもたち1人1人に個性があることにつながる。また、緑も子どもたちも、集まることで明るさや活気が出てくる。「緑」一文字にも奥深さを感じる。
- 石山地域の歴史を鑑みたときに「石山軟石小」もふさわしい。しかし、新設校に通うのは子どもたち。子どもファーストで考えると「石山緑小」になるのではないか。
- 校名に関する検討内容をまとめて、教育長に意見書を提出する。

1年半にわたる検討の結果、
新設校の校名は「石山緑小学校」に決定しました。

<選定理由>

- 地域名である「石山」を冠することで、「両小学校の歴史」と「地域の歴史」を新設校に引き継いでいくとともに、住民の「石山の歴史」への想いを子どもたちに伝えていきたい。
- これからの学校は、子どもたち自身が作り上げていく。その子どもたちからの意見が最も多かった校名である。
- 緑は、石山が誇る「豊かな自然」や、地域の象徴であり、軟石を切り出してきた歴史も感じることが出来る「石山緑地」を表している。また、子どもたちが緑の芽吹きのように、未来に向かって健やかに育ってほしいとの願いを込めている。

◆石山南小学校の跡活用について

- 市が直接運営することが財政的に困難なのは分かるが、地域にとって跡活用は大きな問題。市でも協力してほしい。市だけでなく、地域でも積極的に行動する必要があると思う。
- 新設校に設置予定のメモリアルスペース（両校の記念品等を展示）では展示しきれないものがあるので、石山南小の一部で展示したい。
- 活用を希望する市の部局がなかった点について、結果だけでなく、背景や事情も教えてほしい。そうでなければ、新設校開校に向けて、納得して進むことができなくなる。
- 災害が増えている中、避難所の役割は重要だと思う。例えば国や北海道で、防災訓練の場として活用してくれるところはないのか。
- まちづくりセンターが小学校に複合化されると、飲食できる集会所がなくなる。石山南小の体育館や校舎の一部が残れば、そうした集会所も継続できる。また、石山には地区センターがないため、地区センターとして運営することも考えてほしい。
- 学校統合の検討当初から、跡活用は懸念点であり、体育館等は市が保有し、地域が使用できると思っていた。市で予算をつけてほしい。

- 石山南小の体育館がなくなれば、学校開放を利用していた地域の人たちはスポーツ活動ができなくなる。体育館は維持してほしい。
- 色々な要望が出てきたが、こういったことを整理して、事業者に対する売却条件を決めていくということか？

(まちづくり政策局回答)

そのとおりです。さまざまなご意見の中から地域の要望を整理していただき、それらを条件に公募により民間事業者への売却を行っていく予定です。

- 土地と校舎をまとめて売却すると、概ねいくらになるのか。

(まちづくり政策局回答)

施設の解体費用を差し引いて売却価格を算出しており、厚別区のもみじ台地域の2つの小学校跡施設は、各々5～6千万円で売却を行いました。

- 来年3月までに条件案を決めるというのは厳しいのではないか。

(まちづくり政策局回答)

スケジュールはあくまでも最短の案であり、協議を延ばすことは可能です。ただし、時間が空くほど校舎等が傷む懸念はあります。

- 地域の企業等と話をした際、学校敷地は広すぎるという話を聞いた。いくつかの活用パターンを想定し、金額を試算することはできないか。具体的な数字があれば、事業者としても検討しやすいと思う。

◆その他

- まちづくり協議会と軟石文化を語る会で、軟石を切り出す様子をジオラマにした。この地域の成り立ち、歴史が分かる作品だと思うので、新設校のメモリアルスペースに展示してほしい。

決定事項

第12回石山部会では以下の方針を確認しました。

石山地区の新設校の校名は
「札幌市立石山緑小学校」 とする。

石山緑小学校の校歌は
 石山地区出身の歌手、^{おおぐろ ま き}大黒摩季さんに制作していただく。

第13回の石山部会
 について

第13回の石山部会は、石山南小の跡活用検討や石山緑小の通学安全等を議題とし、11月頃に開催を予定しています。

■ ご意見・ご質問は、下記の検討委員会事務局までお寄せください ■

■ 石山・芸術の森地域 学校規模適正化検討委員会 事務局 ■
 札幌市教育委員会 生涯学習部 学校施設課 (学校規模適正化担当)
 〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目 S T V北2条ビル
 TEL 011-211-3836 / FAX 011-211-3837 / E-mail gakkokibo@city.sapporo.jp
 ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/kentoutiiki.html>